

あなたの会社の安全・安心のために！【株】国際危機管理機構

文 牛久保洋次

Text by Yoji Ushikubo

「まさか」そんなことが!? と思っていたことが起こる時代。かつてなかった気候変動による自然災害、新型コロナウイルスの発生・蔓延と長期化、ロシアによるウクライナ侵攻、企業・団体に対するサイバー攻撃。また企業におけるハラスメントや個人情報流出、学校や病院・介護施設内でのいじめ・人身事故等により、損害賠償を求められたり、社会的信用を失墜したりする事例も絶えません。

今回は危機管理を普及・啓発することにより日本の危機管理の礎を構築し、企業・団体などの健全な発展をサポートする【株式会社国際危機管理機構】をご紹介します。

アルバイトへの教育不足、社員の誤った顧客対応、役職者によるハラスメント、原料高騰や人手不足といった厳しい経営環境と、日々の事業運営のなかで起きてしまうミス…どんな企業・団体でも起こり得る、このような小さな出来事がSNS等を用いた個人発信可能な時代においては、大きな事案に発展することが少なくありません。

明日は何か起こるか予想もつかない激動・混迷の現代において、危機管理は見落としてはならない経営戦略の一つです。

危機管理は危機を具体的に意識することから始まります。「備えあれば憂いなし」という諺ことわざがありますが、これはいろいろな「備え」（準備）をしておけば、その結果として日常生活や事業活動は「憂い」（心配）なく遂行されることを意味しています。

しかし、危機管理とはまず「憂い」ありきなのです。具体的な「憂い」を持つことで、どのような緊急事態が迫ってくるのか特定され、その問題点を把握できます。そこで初めて具体的な「備え」が出てくるのです。

リスク管理の第一段階として、リスク・危機は発生させない事が最善であり、事前対策に最も重きを置かなければなりません。ただ、どんなに対策を施しても、発生することがあります。その際の応急措置が第2段階の措置になります。またトラブルが収束した後に直ちに事後対策（再発防止・復旧対策等）を立案・実行する事も忘れてはなりません。この事後対策を徹底することが、新たな次のリスク・危機の発生への事前対策となるのです。

安全で安心な社会の実現を通して、持続的発展を目指す企業・団体様はぜひ是非一度、ご相談ください。

【株式会社国際危機管理機構公式ウェブサイト】
<https://kikikanri.co.jp/>



今月の一言

「憂いなければ備えなし」
これが則ち【未常識の発見】



Profile

慶應義塾大学商学部 卒業
株式会社友アンド愛（レコードレンタルビジネスの開発者）を創業し、代表取締役就任。約700店舗をFC展開する。株式会社ビザカリフォルニアを創業し、代表取締役就任。約400店舗をFC展開する。日本CDビデオレンタル商業組合 初代理事長（社）ニュービジネス協議会 理事等を歴任。
現在、株式会社いかしい隊長 会長、その他顧問数社。